

思いがけない発見

登呂遺跡の発見は、1943(昭和18)年。太平洋戦争のさなか、静岡市南部石田地区に軍需工場建設のため、トラックで運んだ有度山の山土や周囲の田んぼの土を使い土地を造成していた時、田んぼから弥生土器のかけらや木片、木杭などが大量に見つかりました。

静岡大空襲のなかで

軍需工場を目標に空襲が、1945(昭和20)年4月以降本格化。6月20日の静岡市への空襲では、市街地が一夜にして焼け野原となりました。静岡市歴史博物館に位置していた静岡県立葵文庫(現 静岡県立中央図書館)に保管されていた出土遺物も大きな被害を受けましたが、図書館長の加藤忠雄氏のとっさの判断で出土品を水槽に入れたことで一部は焼失から免れました。



加藤氏が命懸けで守ったと思われる出土品*

発掘調査に参加するユース

1946(昭和21)年、報道関係者、市議会議員などにより、「静岡県郷土文化研究会」を立ち上げ、地元での発掘調査の受け皿がつくられ、翌1947(昭和22)年、「静岡市登呂遺跡調査会」が組織され、本格的な発掘調査の準備が整いました。市内の旧制中学校、女学校の生徒を中心に「静岡市古代史研究学徒会」も結成されました。生徒らは、発掘調査の手伝いととも発掘調査中の2ヶ月間、NHK静岡放送局にて「今週の登呂」と題して、毎週ラジオで学徒会の発掘経過や遺跡の概要を発信していました。



1947(昭和22)年7月13日の徴入れ式*

今も歌い継がれている校歌

登呂遺跡周辺に位置する静岡市立中田小学校、中島小学校は、昭和12年尋常小学校として開校しました。戦後、1947(昭和24)年に両校とも校歌を制定しています。その歌詞には、「新しき世」、「民主自由」などの文言とともに「登呂の遺跡」が記されています。登呂遺跡は新しい社会のシンボルだったのかもしれませんが、今その精神は子どもたちに引き継がれています。

1943

1945

1950

現在

戦時下での発掘調査

戦時中ではありますが、その重要性から静岡県による発掘調査(第1次調査)が行われ、水田の畦畔、住居跡、倉庫跡、井戸跡などが発掘されました。そのほか柱や杭列などの住居構造を示す遺構と、土器・石器・木器・金属器・青銅器などの多種多様な遺物も見つかりました。



登呂遺跡 第一次発掘調査の様子*

日本の歴史観を変えた転換点

登呂遺跡の発見と発掘調査は、科学的根拠のもと、弥生時代の稲作文化を証明し、神話に依存した歴史観から科学的実証に基づく歴史観へと転換させました。登呂遺跡は日本考古学の金字塔とされ、その後の考古学に大きな影響を与えました。また、学校教育における子どもの学びや戦後の教育を支える大きな存在となりました。

戦後の教育実践

静岡大学教育学部附属静岡小学校では、「教科をのりこえる学習～登呂の子ども」をテーマに10年間生活教育にチャレンジ。研究記録をまとめたものが、1957(昭和32)年に書籍として刊行されました。そこには、竪穴住居を実際の3分の1で作り、火を起し、魚を焼いたり、古代に思いをはせ、祭りを楽しんだり、登呂遺跡を対象に学ぶ子どもたちの姿がありました。現在、大切にされている合科的・関連的な学習の原点がここにあるように思います。



文献: 岡村渉(2014)『弥生集落の原点を見直す・登呂遺跡』新泉社

令和7年度 しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業
田宮縁(静岡大学教育学部教授) 柿島安博(中央動物総合専門学校顧問)
監修: 静岡市立登呂博物館
連絡先: 静岡大学教育田宮研究室 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
tamiya.yukari@shizuoka.ac.jp https://knotworklab.com

* 写真提供: 静岡市立登呂博物館



自分でつくる
ミニ絵本

「2025年度生涯学習演習」受講者20名が
静岡市立登呂博物館を誌上でジャックします!

静大生による誌上 ミュージアムジャック

プロローグ

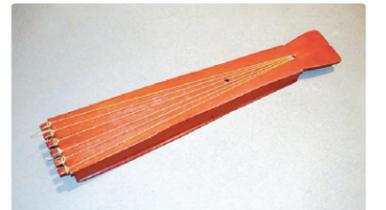
Prologue

静岡のものづくりのルーツは 登呂遺跡にあった

1943年、日本で最初の琴が出土。これまでに3点の琴がみつっています。そのうちの一つは、琴版に共鳴箱がつく1メートルを超える箱づくりのもので、全面に朱漆を塗ったつくりでした。他の遺跡では、土笛や銅鐸なども出土しており、ムラの祭祀で使われていたと考えられています。登呂のムラから駿河漆器がスタートしたかもしれません。



遺跡で発掘された漆塗りの琴*



復元された朱漆が施された琴*

ミュージアムジャックとは

About

学生の声

Voice

ミュージアムジャックとは、社会教育と学校教育が連携し、おとなも子どもも持続可能な社会の構築をめざし行う教育活動。子どもの遊び心をくすぐり探究活動に巻き込んでいく「リアルごっこ遊び」(田宮, 2018)が特徴。本物のミュージアムでガイドやスタッフの仕事を行う職場体験プログラム。



ミュージアムジャックで展開される
探究のサイクルを学んだ後、登呂遺跡を訪問。

公園や周辺地域を歩きながら、館長、学芸員さんからガイドをしていただき、そこで沸き起こってきた問いを追究する旅が始まりました。文献や資料などを調べていくうちに、登呂遺跡は昔のことではなく、今、そして未来とつながっていることがみえてきました。「静岡にある遺跡」がグッと身近になりました。(1年 村松奏汰)

ミニ絵本の作り方

- 1 反対側に折り返し、真ん中の山折り線Aで山折りにします
- 2 さらに半分に折り、しっかりと折り目をつけます
- 3 1の状態にもどして、切り込み線に沿って、紙の半分まで切り込みをいれます
- 4 谷折り線Bに沿って、じゃばら状に折ります
- 5 山折り線Cに沿って、山折りにします
- 6 1番の絵が表紙になるように折りたたんで、完成!



ミニ絵本は、2025年7月12日(土)に行われたESDフォーラムを再構成したものです。

